



CENTER FOR GENDER RESEARCH AND SOCIAL SCIENCES
GRADUATE SCHOOL OF SOCIAL SCIENCES, HITOTSUBASHI UNIVERSITY

一橋大学大学院社会学研究科 ジェンダー社会科学研究センター

一橋大学国際交流セミナー

第20回 CGraSS 公開レクチャー・シリーズ

2013年6月19日(水) 16:30~18:30

講師: ナシラ・ゲニフ=スイラマ さん
(パリ=ノール大学准教授)

フランス・フェミニズムの

両義性と隘路

(使用言語:英語、通訳あり)



Nacira Guénif-Souïlamas

講師紹介

社会学者。ジェンダー／エスニシティ構造、植民地主義と移民問題、レイシズムなどをテーマに透徹した分析を展開。主著に"Des « beurettes »" (2003, Le Monde 研究賞受賞), 編著に "La République mise à nu par son immigration" (2006) など。

パックス法(1999年)、パリテ法(2000年)、さらには今年4月、同性婚を認める世界14カ国目となったフランス。ジェンダー平等とセクシュアル・マイノリティの権利を推進する一方で、スカーフ禁止法(2004年)も成立し、公立学校がスカーフを被るムスリムの少女たちの就学を妨げるなど、ジェンダー／エスニシティ／階級の交差のもとで、フェミニズムは新たな課題に直面しています。こうした点について、アルジェリア移民2世でもあるゲニフ=スイラマさんに問題提起していただきます。

ふるってご参加ください。予約は不要です。

- 司会:伊藤るり(本学社会学研究科教授)
- 場所:一橋大学西キャンパス、本館1階特別応接室
- 共催:「国際移動とジェンダー」研究会／
科研費基盤研究A「EU統合下の移住女性とケアの政治」
- 連絡先:ジェンダー社会科学研究センター cgrass@soc.hit-u.ac.jp